

# 第2回京都三条会商店街ごみ減量ワークショップ 結果概要

## 第2回の目的 「ごみ減量に向けた実験取組の方向性を決定」

### 実施概要

日 時：平成23年11月2日（水）20：00～（約2時間）

場 所：Koto Cafe

- 参加者 ◆運 営…4名（パシフィックコンサルタンツ株式会社）  
◆商 店 街…20名（上田理事長をはじめとする各店舗）  
◆許可業者…5名（新川耕市京都環境事業協同組合理事長ほか商店街のごみを収集する許可業者）  
◆事業系廃棄物対策室

### 手 法

ワークショップ前半は、3グループに分かれたフリーディスカッション形式にて、ごみ減量に向けた実験取組みアイデアについて議論を行った。

ワークショップ後半は、全体討議形式により、各グループから発表された取組アイデアを基に、商店街全体及び各店舗での短期的な取組み（実験）及び中長期的な取組について検討した。

### 【全体討議でのまとめ】

第2回ワークショップ 全体討議のまとめ

#### 今年度実験、短期的な取組

③意識向上の  
電報調査  
(アンケート)

①ダンボール  
共同回収

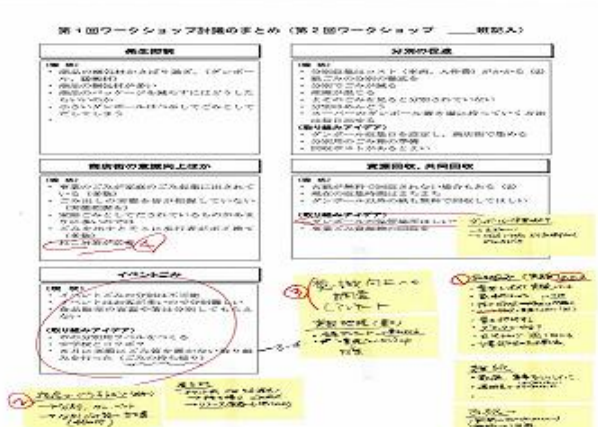
#### 中長期的な取組

④新対策  
面談は必要

⑤イベント  
も活用  
・各店では分別回収

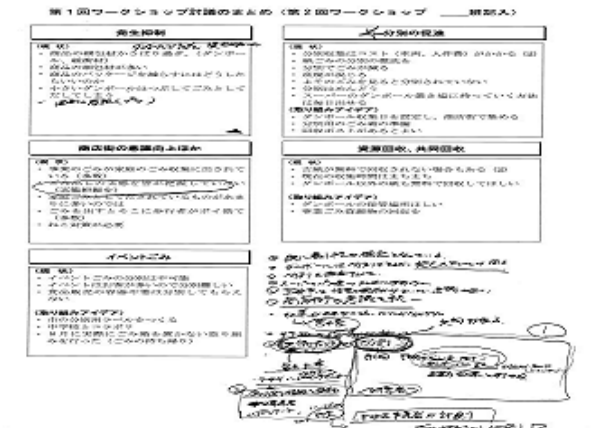
### 【取組の方向性】

三条会商店街全体：資源物の共同回収  
各店舗：ごみ排出に関する実態把握（意識向上）



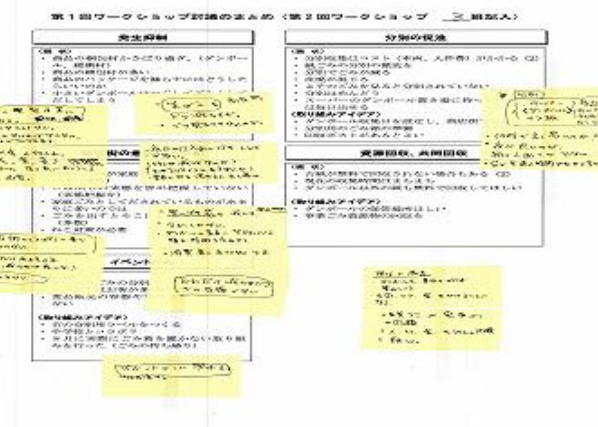
### 【1班の発表】

- 古紙（特にダンボール）の共同回収を実施したい。回収場所の確保が難しいことから、店舗の前に出したうえで、お客さんがいない夜に回収する方法がいい。
- 商店街のごみ減量意識を向上させるため、業種ごとの排出重量の実態把握が重要
- イベントごみでは、分別を徹底させるための対策が必要



### 【2班の発表】

- 意識向上のため、12月に商店街に設置される大型モニターで分別情報を発信
- 古紙等の少量資源物を対象とした共同回収への取組  
⇒アンケート調査や、事業者自身による計量実験で効果を把握



### 【3班の発表】

- ちらし、ダンボール、新聞紙の共同回収への取組（収集頻度：1～2回/月 程度）
- ごみ量を把握することで、減量の目安や目標設定が必要
- 新たな取組は、手間・コストが掛かるので、効率性を考慮しなければならない。